

平成26年度 事業報告

社会福祉事業

1. 新規事業について

(1) 特養「ハッピーランドやまと」増床工事事業

26年度福島県老人福祉施設等施設整備補助事業として進めてきたが、ユニット型指定地域密着型介護老人福祉施設で、喜多方市の27年度整備事業に変更となった。

(2) 障がい者相談支援事業所のための設置

喜多方市では、相談支援事業所が少なく利用者等からの要望に応えるため10月1日に救護施設しののめ荘の中に設置し運営開始した。

2. 介護保険事業について

入所施設部門では、前年比約1%の増収となった。内ハッピーランドやまとは昨年同様短期入所者の確保が不安定でした。

天心ケアハイツでは、介護職員の補充が遅れたため後半は入所率が減少した。

在宅部門でも前年比4%の増収となった。天心ケアハイツ在介センター居宅部門ではケアマネ1名増員したため増収に繋がった。

北原荘は、施設整備等積立金3,000万円を計上した。

3. 社会福祉事業について

啓愛ヴィラは入居者も安定し昨年並みの収入、しののめ荘は一時入所があり増収、鮮雲荘は加算の減少があった。

しののめ荘は、将来のための施設整備等積立金2,400万円を計上した。

4. 電気料値上げの対策

天心ケアハイツでは、電力監視装置を26年11月に設置しピーク電力を下げ基本料金削減を図り、月額68,000円使用電力料と合わせ約10万の削減ができた。又、あいかわには、窓全面に遮光、断熱フィルムを貼り冬期間の暖房効果があった。27年度は、これらの実績をみて、他の施設にも導入し、電気料の削減を図る。

5. 介護職員不足への対応

県より介護職員初任者研修事業者の指定を受け、10/2~27.2/26の

5ヶ月間毎週木曜日計130時間実施し、定員20名(修了者19名)の内当法人採用2名、法人職員職種変更4名計6名が介護職員となった。又喜多方市の介護職員雇用拡大業務委託事業により10月より介護職員人材育成担当として職員1名採用し、職場説明会、介護研修会、地域の介護教室、ハローワーク訪問等を行い介護職員の雇用につなげた。

6. 職員の育成

天心会の身体拘束廃止・虐待防止推進委員会主催による研修会を12月3日に開催し67名の職員が受講した。

公益事業

指定居宅介護支援事業

平成27年度の介護保険制度改定に向け基盤整備を行い、要介護状態にある利用者が自立した生活を営めるための適切なケアマネジメントを目指し、一人ひとりが積極的に自己研鑽を行った。また、認知症高齢者の多様な環境に対応できるよう、将来にむけた地域の包括ケアシステムの構築を視野に行政機関はじめ保健医療福祉サービス事業所等との有機的な連携に努めた。

1. 認定調査委託事業
喜多方市他 462件
2. 居宅介護(予防)支援事業
介護ケアプラン作成 2,105件
介護予防プラン作成 253件
3. 喜多方市指定居宅支援事業所部会の企画運営協力と出席
資質向上のための研修会、行政説明会(6,9,12,3月開催)
4. 喜多方市主任介護支援専門員部会研修会の企画運営
地域包括支援センターと協議し事例研究会を開催(毎月)
地域の介護支援専門員の処遇困難ケース等への対応
5. 介護支援専門員研修会への出席 福島県主催
6. 介護支援専門員実務者・現任者研修会講師並びに企画運営の協力